

(川村原圖)

osa MAKINO. デアル

a ハ臺灣産豹紋竹デ菌絲塊ヲ除去シ磨キテ斑紋ヲ現ハシタモノ

b ハ同ジク菌絲塊ノ附着セル天然ノマヽノモノデ共ニ其寄主ハ臺灣所産ノ竹せきかくちく即チ Bambusa Shimadai HAYATA. デアル

○瑞西ニテウワウルシ

採種ノ記

【牧野曰フ、左ニ掲グル藤田、關根兩君ノウワウルシニ就テノ記事ハ今獨逸ニ留學中ノ藤田直市君カラ東京帝國大學理學部小石川植物園ノ松崎直枝君宛デ同園ヘウワウルシノたれヲ送り來ッタ時ソレト一緒ニ

送り越シタモノデ松崎君カラ我が植物研究雜誌ヘ轉送シテ來タカラ喜ンデ此ニ載スルコトニシタ尙右藤田君ノ書信ノ中ニハ「此植物は利尿藥殊に癲病にサンタール(白檀)油と併用するので利尿に兼て尿道の防腐藥とするのである。我國にはないので樺太の北に工藤氏が見附けた者です。それでも日本へは年額少くも十萬圓多ければ十數萬圓の輸入のある品です。十萬圓は少い様ですが過去二三十年に三百萬乃至五百萬圓の金が出て居ますので今度探した譯です。幸に入手しましたので御送りしますが生育状態や其他の事情を二重に述べるのも面倒故私共の苦辛と生育状況を一應同封原稿で御了解願ひたいのです。……ウワウルシの種の輸入は從來寡聞にしてまだ知りませぬ自分等が初めかも知りませぬ萬一貴君が發芽せしめないと本當に恨みますよ全く命懸けて取ったのです。ハヽヽ、所て私の考へては高山にあり伯林ダーレムの植物園ではロックガーデンにありませんからこれは植物園ならロックガーデン或は日光の方にやり發芽後は適當な所(高山(保護地))へ植ゑて野生状態とし五十年百年の

瑞西ニテウワウルシ探種ノ記

後に輸入防遏迄進みたいのです此便宜は他では持ち得ないので貴教室のみが持て居られるので特に貴方に御願ひするのでそれからこれがうまく發芽すれば御一報願ひます又何かの機會で得られたら送ります」ノ文ガアッタ

在獨逸
藤田直市
關根重治

着獨後間モナイ事トテ言語不十分ヲ言ヒ前ニ尻込ンデ居ルト其方ハ關根ガ引キ受ケルト言フシ、ドウセ旅行ハ二人ノ方ガ面白クテ安クツクトイフノダカラ思ヒ切ツテ出カケタノガ八月十九日「一九二七年」、ポツターマ一驛ヲ夕方八時二十五分發ノ列車ニ乘リ込ム、バーセル、ベルンヲ經テインターラーケンニ八月二十一日夕方九時ニ着ク

夜半雨聲ヲ聞キナガラうとト寝テシマウ、朝起キルト雨コソ止ンデ居ルガ密雲低迷頗ル怪シイ天候ダ、思ヒ切ツテユングフラウ行キノ切符ヲ買フ七十法デ二等、滅法界高イガインダーラーケン東停車場デ乗ル、道ヲラウターフルンネンニ取ツテシャイデック迄行ク天候ハヨクナツタ、道々牧場ノ牛ハ首ニ鈴ヲ附ケテ居ルガ一種特有ノ音響ヲ出シ雪峰ニ反響スル様デ幽シイ者ダ、又兩側ニハ名ハ分ラヌガ紅紫黃白今ヲ盛リト咲キ亂レタノハ實ニヨイ氣持チデ飛ビ降りテ失敬シタイ様ダ、シャイデックデ汽車ヲ乘リカヘル此處ハ已ニ二千米ヲ突破シテ居ル、コレカラ汽車ハ隧道ノ中ニ入ル、ソシテ頂上ユングフラウヨッホ迄ニ驛ガ三ツ程アルガ二ツハ岩ヲクリヌイテ其處カラ視カス様ニシテアル丈ケダ視ケバ總テ是レ雪景ナラヌハナイ、終點ユングフラウヨッホハ三千四百五十七米デ此處ヲ出テ少シ行ケバ小高イ見晴シガアツテ四方ヲ眺メ得ル、絶景々々、壯嚴ノ極、寫眞ヲ取テ居ル内ニゴトト異様ノ音ガシテ下カラむらくト雲ガ湧イテ來タト思フ間モナク吹雪ダ、八月ニ吹雪!! 手が凍エル、慌テ、驛迄引キ返ス

間モナク歸リノ電車ガ出ルトイフノデ乘リ込ムト關根ハ小便ヲシテ來ルト言ツテ外套モ靴モ置イテ出テ行ツタ、

所ガ歸テ來ヌ内ニ電車ガ動キ出シタ、線路ノ入レ換ヘカト思ッテ居タガ徐々ニ徐々ニ動イテ止マラス、出ヤウトスレバ已ニ隧道ノ中デ速力モ附テ居ル、エ、マ、ヨ、ドウニカナルト落附イタガ車掌ガ切符ヲ改メニ來タノデ大ニ困ツタ、切符モ瑞西ノ金モ皆關根ガ持テ居ルノダカラコレニハ開口シタ、愈自分ノ番ダ、『切符ヲ持タヌ、友達ガ持テ居ル』『何處ニ友達ガ居ルカ』『知ラス』變ナ顔ヲ車掌ガシテ居ル、其内ニ思ヒ付イテ『次ノ驛迄待テ』ト言フト漸ク合點シタ、ヤレヤレソレニシテモ關根ノ奴ダラシノナイ奴ダト恨ムハ恨ムハ、其内ニ次ノ驛ニ着イタノデ荷物ヲ二人分纏メテ降リヤウトスルト關根ガ入テ來タ『やいドウシタ』『時間ガアルトイフカラ行タラ車掌メやい』言ヤガツテ動イテルノニ飛ビ乗ツタンダヨ』コレデ漸ク安心、電車ガアイガーググレッツチャリ迄來テ十分間止マルトイフノデ見レバ美シイ花ガ咲キ亂レテ居ル、占メタト許リ一本取ルト後カラ『ハロー』『ハロー』、後ヲ見レバ『ネーネーネー』ト首ト手ヲ横ニ振テ居ル、は、い、ん採集禁止ダナト分ル、關根ヲツラマヘテ『つまんねー』トコボスハコボスハ、『今ニイ、處ガアルヨ』、電車ハシャイデックデ乗リ換ヘ此時ニ一列車後ラシテ其邊ヲブラブラシタガ膾ヲ吹クノ類デ手ガ出ヌ寫眞ヲ取ツタリ天然色デ取ツタリシテ別ノ道格林デルワルドノ方ヘ取ツテ歸リノ電車ニ乗ル、道々車窓カラ見レバ面白サウナ者ガアルケレド取ラセサウモナイカラ其儘デ歸レバ丁度タ方デアル

ソレカラルツエルン、チュエーリッヒ、ランドクワルトカラダボスニ出タ、此處ハ肺病ノ高山療養所ガアル、西洋ノ建物ニ似合ハズ廊下ノ様ナ者ガアツテ上ニハ覆ガ降リル様ニナリ其下ニ『ベツト』ヲ作ツテ毛布ヲカケテごろ／＼寢テ居ル、然シ病人ハ血色ヨクぶち／＼肥エテ居ル自分等ノ方ガ餘程病人ラシイ、此處デモ植物ハ邊鄙ナ處デナケレバ採ラヌト聞イテ直チニボントレジナニ向フ、ボントレジナニハ關根ノ教授フォルマーサンガ居ルカラ其レヲ訪問スルノガ目的デアツタ

ボントレジナデハフォルマー教授ハ既ニ歸ツテ居ナカッタガ植物ガ採レルト聞イテ落チツイタ、夜ハ雪ガ降ッ



(Mortersatsch ニテ撮影)

ウワウルシ (Arctostaphylos Uva-ursi SPRENG.)

テ來タ室ハ「ストーブ」デ溫メテ居ル『明日ハ晴レルゾ
「ナツールファルペンバックファイルム」オヤ』ト許リデ寢込
ム
八月二十六日朝起キルト雲ハアツテモ切レテ居ル、朝飯モ
そこニ藥局ヲ訪ネテ行ク、先ヅ媒鳥ニ香水ノ小瓶ヲ買
テ偕談判『アルクトスタフィロス、ウソウルシヲ知テ居ル
カ』妙ナ格好ヲシテ首ヲ横ニ振ル、自分ガ言テ見ルガ同様
『フォリア』ウワウルシヲ知テ居ルカ』首ヲ横ニ振ル、日本
語デ『ソレデモ「アポ」カイ』首ヲ横ニ振ル、思ハズ微笑ム
ト向フモ笑テ居ル、困ツタ、書ケ々々トイフガ中々カ、ヌ、
其内ニ『ア、!!ウワウルジ』トいやニ「アクツェント」ヲツ
ケテ來タ『ヤアヤア』、此處等邊リカラ關根ハ一生懸命ダ、
葉ヲ持テ來テ見セル、葉ハイライナイガ實ガホシイ日本ニハ
此植物ハナイカラ送ルノチャト言テ居ルト今一人若イ助手
ラシイノガ出テ來テ向フハ二人ニナル、『此近クニ此植物
ハナイカ』『アル此處カラ二ツ目ノ驛デ降リルト其邊ノ森
ノ中ニアル今ハ果實ノ熟シテ居ル時ダ自分ハ既ニ見タ』ト
言テ居ルノデ勇躍シテ出カケル一ツ目ノ驛ハサンソウシ
デ二ツ目ガモルテラツチダ、モルテラツチハ已ニ一八九九

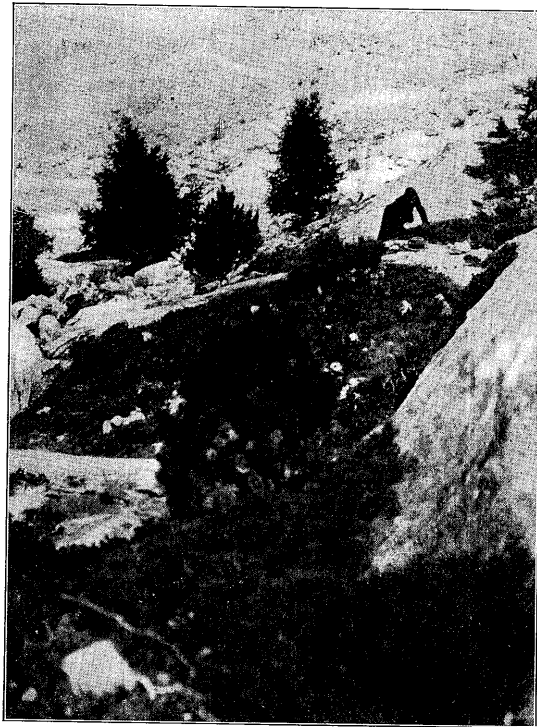
捨石ヲ積ダ様ニナツテ居ル斜面ニ一面ニ敷イタ様ニアル赤イ珊瑚ノ様ナ實ヲ持ツテ居ル、天然色ヤ普通ノ寫眞
ヲ撮テ扱テ實ヲ採集スルト案外少イ、又少シ行テ立木ハナクナツテ岩山許リニナル處デ關根ガ寫眞ヲ撮テ居ル
其下ノ急傾斜ノ處ヲ見ルト相當廣クウワウルシガアツテ殊ニ實モ多イ、迂回スレバ降りラレス事モナイ、然シ
遙カニ三百米ノ下ニハ氷河ガ物凄イ灰色ノ光ヲ放ツテ横ハリ殊ニ其切口(解ケ口)ハ小山ノ様ニ凄マジイ光景ダ



(Morterssch ニテ撮攝)

ウワウルシ (Arctostaphylos Uva-ursi SPRENG.)
ノ生育狀態

米デ電車ノ中カラ見ルト路々美麗ナ花ガ
咲キ亂レウワラシイ者モ見エル『おいア
ルゾアルゾ』モルテラツチ驛ニ着ク、驛
トハイヘド建物ハ何モナイ、前ニ『レス
トウラント』ガアル限リダ、路ヲ右ニ取ツ
テ森ノ中ノ路ヲ行ク路ハ九十九折デ大分
行クガ幾程目ヲ皿ノ様ニシテモこけも、
許リデウワウルシガナイ、ソロソロアセ
リ出ス『おい關根!! ナイヂヤナイカ』『ソ
レデモ君ハ最前アルトイッタヂヤナイカ』
キワドイ所デ一本かまシヤガル、其内ニ
ラリックスノ下ニ一本見附ケタ『やあい
アッタゾ』貧弱ダ、此邊ヲ探セ、關根ガ
頓興ナ聲ヲ揚ゲテ『アルアル』見レバ日
當リノヨイ立木モナイ處デ一抱程ナ石ガ



(Marta Ratsch ニテ撮影)

ウウルシ (*Arctostaphylos Uva-ursi* SPRENG.)
ノ生育地概況

ト言ッタノガ五時、腹が減ッテ仕方ガナイ、恐ロシイ處ヲ辿ッテ元ノ處ヘ來テ少シ進ミ路ヲ氷河ノ處ニ取ッテ降レバ又モヤ小雪ガさら／＼ト來ル、コンナ處デ凍エテ死ンデハタマラヌ、飛バセ飛バセト漸クニシテ驛ノ處ノ「レストウラント」ニ來テ「ストーブ」ニ溫タマリ溫カイ食物ニ始メテ人心地トナッタガ暫時ニシテ吾等ハ華胥ノ夢路ヲ辿ッテ居タ

『行テ取テ來ルヨ』『俺ハふら／＼シテ目ガ廻ル様ダ、マウ二時半ダモノ腹ガ減ッテ仕方ガナイ、危イゾ』漸クニシテ辿リ着ク、見レバ少シノ平カナ處ガアッテ急傾斜ニナリ又少シ平カナ處トナルトイフ風ニ幾程カ階段様ニナッテ居テ其平カナ處ノ岩ノ裂ケ目ニ根ヲ下シテ少量ノ腐葉土中ニ禾本科植物ト一處ニナッテ居ル、ソシテ枝ハ自分ノ腐葉ノ上ヲ這ヒ急斜面ノ上ノ方ニ懸ッテ居ル、此處ハ果實モ多イノデ取ルヲ取ルヲ、見レバふら／＼居士ノ老千松—關根—モ來テ取ッテ居ル、急斜面ハイヤニ高ク覺エテ一步ヲ誤レバ命掛ケダト録々ツラマル物モナイノニ恐々探ッタ果實カ約二封度、さあヨカラウ